

立川市民科教科化について

1 第2回検討委員会

(1) 開催日時

令和3年5月20日(木) 13時15分から15時

※ウェブ会議アプリによるリモート開催

(2) 出席委員

委員長	教育部長	大野 茂
学識経験者	学習院大学文学部教育学科教授 シティズンシップ教育推進ネット代表	長沼 豊 大久保 正弘
校長会代表	立川市立第八小学校長 立川市立立川第二中学校長	関口 保司 飯田 芳男
事務局	教育部指導課	前田 元 寺田 良太

(3) 協議内容

○第1回検討委員会の意見を踏まえた修正について

- ・目的、目指す児童・生徒像については、指摘を踏まえた修正となっている。
- ・立川市民科と学習指導要領との関連については、重要な内容なので、目立たせてほしい。
- ・授業時数は、当該教科と同じ内容を学習することになるので、授業の内容を移すとの表現がよい。
- ・授業時数に該当する内容は例示し、各学校で柔軟な対応ができるようにするとよい。

○教育課程特例校新規申請に係る内容の確認について

- ・カリキュラムについては授業時数の例示を生かした対応で調整するとよいとの学識経験者からの指摘があった。
- ・指定の要件に対しては、児童・生徒の転出入にも対応できるよう、「立川の特色を生かした市民科学習」として捉えていくとよいとの指摘が学識経験者からあった。

2 検討課題

- (1) 目的の確認
- (2) 目指す児童・生徒像の確認
- (3) 資質・能力の確認
- (4) 授業時数について
- (5) 共通理解の醸成について

3 今後の予定

6月11日	定例教育委員会・総合教育会議
6月17日	文教委員会
6月	第3回検討委員会(6月検討中)、教育委員会定例会(6/23)
7月	第4回検討委員会、教育委員会定例会
8月	国へ教科化の資料提出
9月	文教委員会、定例教育委員会
12月	文教委員会、定例教育委員会

立川市民科について（検討課題）

1 立川市民科の目的

地域に根ざした探究的な学習等を通して、市民性の基盤となる関心・意欲や資質・能力を育み、世界の多様な人々とも協働し、「よりよい社会」づくりに向け、活躍する市民を育成することを目的とする。

※市民性：よりよい社会づくりに向け、まわりの人と積極的に関わり、参画、協働する意欲や行動力のこと

※市民：自治体の地域社会を形成する構成員のこと

2 立川市民科で目指す児童・生徒像

○まちを知り、まちを大切にしたい思いを育み未来を拓いていく児童・生徒

○まちに関わり、よりよいまちづくりに主体的に参画しようとする児童・生徒

立川市民科で目指す児童・生徒像を上記のように定める。このことは、立川市民科の目的を踏まえ、次代のまちを担う児童・生徒の市民性を育むことを目指すものであり、児童・生徒に世界の多様な人々とも協働して、よりよい社会づくりに向けて活躍するための資質・能力を育むことを目指すものである。

3 立川市民科を通して育みたい資質・能力

- ・コミュニケーション力・協働力
- ・課題解決力・社会参画力
- ・キャリアを見つめる力
- ・まちを大切にしようとする思い
- ・情報活用力・メディアリテラシー

4 授業時数

- ・各学年の年間の配置時数等について

5 共通理解の醸成

- ・保護者・地域等
- ・教員